

令和7年度 SSH マレーシア海外研修

1日目（移動日）

早朝に中部国際空港へ集合し、出発式を行いました。緊張と興奮が入り混じる中、上海浦東国際空港経由でクアラルンプール国際空港へ渡航して、全員無事マレーシアに到着しました。ホテル到着後、翌日からのマラヤ大学研修に備えてゆっくり休息をとりました。



出発式

2日目（マラヤ大学研修）

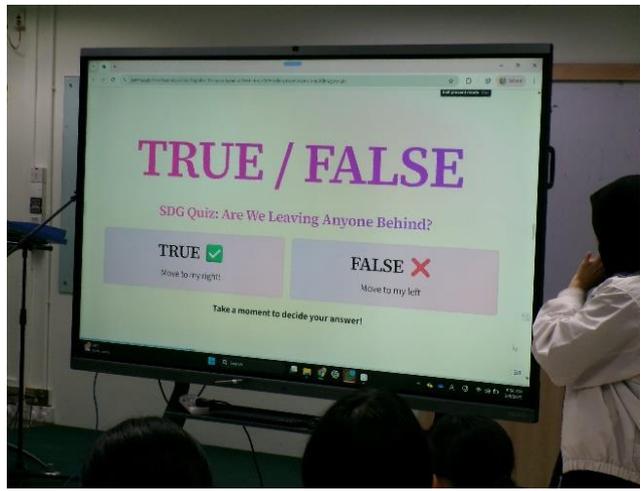
マラヤ大学研修1日目です。到着したらマラヤ大学の学生（バディ）が温かく出迎えてくれました。この学生たちは日本文化に興味を持ってきていて、日本語も堪能でした。初日の研修のテーマはSDGsです。教授によるSDGsの概要説明を聞いたあと、日本とマレーシアそれぞれに見られる社会課題についてディスカッションをしました。その後、グループでSDGsの17の目標から1つを選択し、日本とマレーシアに見られる問題点とその解決策を考え、ポスターにまとめました。最後にグループプレゼンテーションを行い、考えを共有しました。初めは生徒の顔に緊張の色が見られましたが、バディが積極的に話しかけてくれたおかげで徐々に生徒もコミュニケーションを取れるようになりました。



集合写真



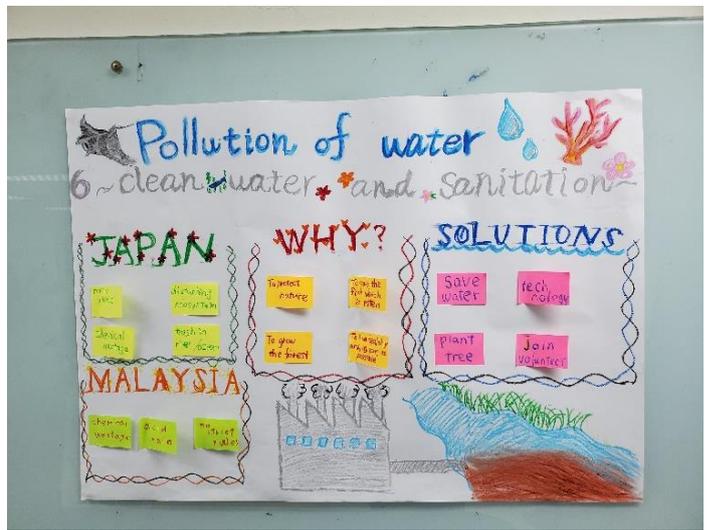
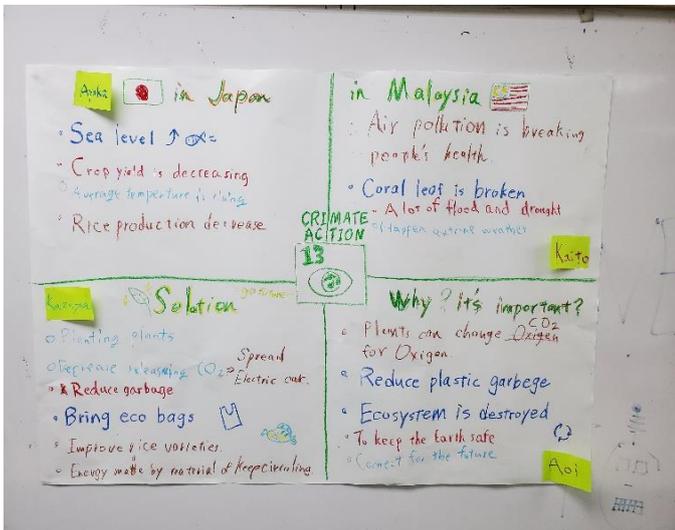
マラヤ大学学生・教授と共にアイスブレイク



SDGs に関する講義



SDGs に関するグループワーク



完成したポスター&集合写真

3日目（マラヤ大学研修）

マラヤ大学研修2日目です。午前中は大学の敷地内にある ISB 動物農場を訪れました。衛生面を考慮した動物の飼育方法が興味深かったです。昼休憩では本校生徒とバディとの交流の場が見られ、トランプやゲームを通して、昨日よりも距離がグッと近づきました。午後からは機械工学の講義を受けました。少々内容が難しかったようでしたが、教授が内容を噛み砕いて説明してくださいました。その講義の内容を生かして、グループで橋を作りました。アーチ構造やトラス構造など、様々な構造の中から1つ選び、工夫を凝らして強度の高い橋を製作しました。大学での研修を終え、飛行機でボルネオ島へ向かいました。



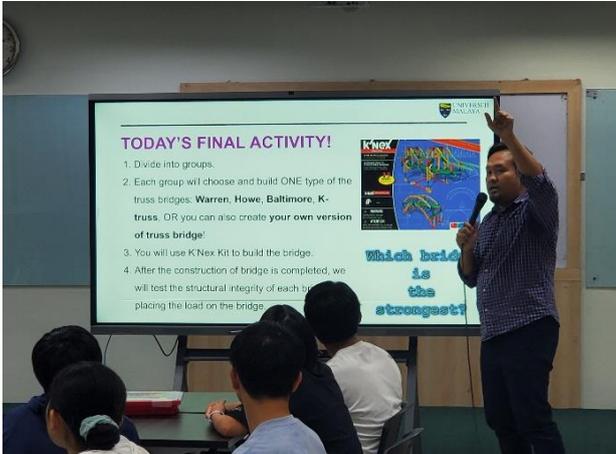
ISB 動物農場訪問



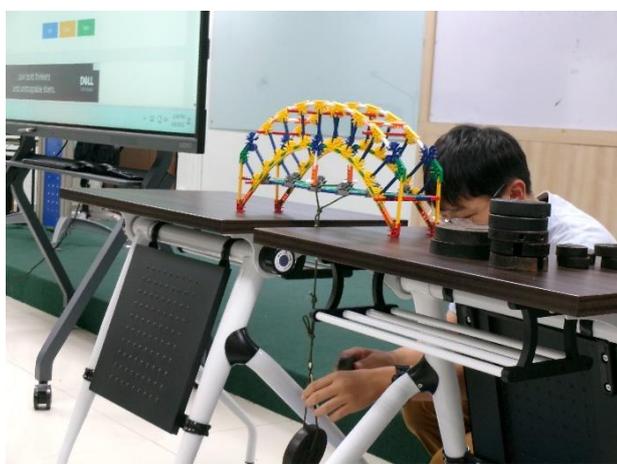
昼休憩のひと時



機械工学の講義



Hands-on Activity: Building Structures



耐久力試験&振り返り（左上の橋が一番耐久力のある橋でした）



お世話になったバディと記念写真

4日目（キナバル自然公園）

4日目はキナバル自然公園での研修です。生徒はこの日に向けて、事前研修を積み重ねてきました。先行研究を調べ、興味のある課題（生態系、自然保護等について）を設定し、仮説を立てていました。現地では2グループに分かれてトレッキングを行い、独特な進化を遂げた熱帯雨林に生息する動植物を自らの目で観察するとともに、専門知識を有するレンジャーへの質疑応答を通して自らの仮説立証を試みました。レンジャーが生徒からの質問に対して真摯に答えてくれたことが印象深く、短い時間でしたが有意義な研修となりました。ホテルに帰ってからはキナバル自然公園での学びを全員で共有しました。



キナバル自然公園（シラウシラウトレイル）にてトレッキング



レンジャー・ガイドへの質問&記念写真



ホテルの会議室にて研修の振り返り

5日目（移動日）

深夜便でコタ・キナバル国際空港から中部国際空港へ帰り、帰着後は解散式を行いました。生徒は疲れた様子でしたが、「研修をやりきった」という満足感も見られました。本研修で学んだことをこれからの学校生活に還元できるように9月には事後研修を行い、研修の成果をまとめます。



中部国際空港にて解散式（生徒が手に持っているのはマラヤ大学で行ったプログラムの修了証です）